

.kyotoの取り組み サイバー空間における京都ブランドの確立

kyoto

京都ドメイン

京都情報大学院大学 教授 立石 聡明

ドット京都

.kyoto

- 「.kyoto」とは何か
- 管理・運営体制
- 目標と特徴
- 「.kyoto」の活用例
- 「.kyoto」の役割
- まとめ・今後の展望



「.kyoto」とは何か

- トップレベルドメイン(TLD)の概要
 - トップレベルドメイン(TLD)とは、インターネットのドメイン名において、最も右側に位置する文字列のこと
 - 分野別トップレベルドメイン(gTLD)特定の分野や目的を表すトップレベルドメイン
 - 国別トップレベルドメイン(ccTLD)特定の国や地域を表すトップレベルドメイン
 - 汎用トップレベルドメイン(新gTLD)
 - 「.kyoto」は都市名が文字列に入るため、GeoTLDやCityTLDなどと言われることもある
- ドメインの意義や対象
 - 日ごろ何気なく目にする「.com」には商業(commercial)という意味があり、あらゆるトップレベルドメインには意味がある
 - 京都のデジタル・アイデンティティとしてのTLD
 - オール京都で公益を最大化！
 - オール京都での京都ブランドカアアップ、安心・安全なクリーンドメイン構築実現のために取り組むもの

.kyotoの主な目的と目標

- サイバー空間における京都ブランドの確立と拡大を産官学共同で推進し、「世界の京都」としてのブランド化を目指す
- 安心・安全なクリーンドメイン空間の実現を目標としており、信頼性に欠ける情報や有害サイトが存在するインターネットの現状に対し、ドメイン名を適切に管理することで健全なサイバー空間を構築を目標としている
- 「.kyoto」の運営管理を「社会教育事業」と位置づけ
- これからの京都を担う青少年をはじめ、すべての京都府民が安心して世界と知的な交流を図ることができる、京都のための安心・安全のサイバー空間の構築が急務とされている
- 産官学が一丸となってグローバルに京都のブランド力を高めることで、京都府全体への価値創出に貢献する
- 京都府所管の情報を集約することを想定しており、フィジカルとサイバー空間の「.kyoto」を相補的に活用することで、京都の魅力をより強力に世界に向けて発信し、京都の社会経済や文化の発展に寄与することを目標としている
- 京都ブランドを世界に発信する格好の場として、多くの方々に活用してもらおうとともに、京都のための安心・安全のサイバー空間実現にオール京都で取り組むよう努めている

管理・運営体制

- 京都情報大学院大学 に拠点を置き、日本で唯一、教育機関としてトップレベルドメイン「.kyoto」を管理・運営
- KCGグループのサイバー京都研究所(KCL) が管理運営主体
- 京都府、京都市の支持および国際的なドメイン管理団体である ICANNの承認
- 産官学の「オール京都」で推進する体制を構築し、一体感を醸成しながらの取り組み
- ドメイン名の利用のされ方や文字列(SCRIPT)について、関係者による諮問委員会を設置、年1回度は、委員会を開催
 - 京都府、京都市ほか各種産業界の代表者、有識者による会合にて詳細を報告
- 有害情報や違法情報の排除の仕組みづくりを地域や教育機関と協力しながら進めている

「.kyoto」の特徴

- .kyotoは、地理的名称トップレベルドメイン(gTLD)で「京都」の文字列である”Kyoto”という地域に特化したものであることを意味する
- .kyotoは、京都にこだわって情報発信する府民、企業、行政、教育機関などを
つなぐドメインとしての役割を担う
 - 京都府内に住所がある法人、個人等でなければ.kyotoのドメイン名を取得できない
 - 1年に2回住所の確認を行っている
 - 「ドット京都.kyoto」というポータルサイトを運営し、.kyotoドメインの情報を集約・提供しています。このサイトでは、ドメイン名、URL、団体名が無料で掲載
- .kyotoは、安心・安全なクリーンドメイン空間を確立することを目標としています。信頼性に欠ける情報や有害サイトの排除を目指し、健全なインターネット環境を提供しようとしている
 - 定期的を取得済みのドメイン名を利用しているWebSiteのコンテンツをチェックし、有害情報だと思われるものについて、修正や削除等の依頼を行っている

「.kyoto」としての *Challenge*

- .kyotoは、京都在住でなければ取得できない
 - どこまで、この制限は可能か？
 - 定期的取得済みのドメイン名を利用しているWebSiteのコンテンツを
チェックについても土曜
- SIGへの貢献
 - School on INTERNET GOVERNANCEを日本で開催
- Universal Acceptance
- 違法有害情報や偽情報、誤情報対策としてのTLD
- インターネット全体の信頼性の回復に寄与できるか